

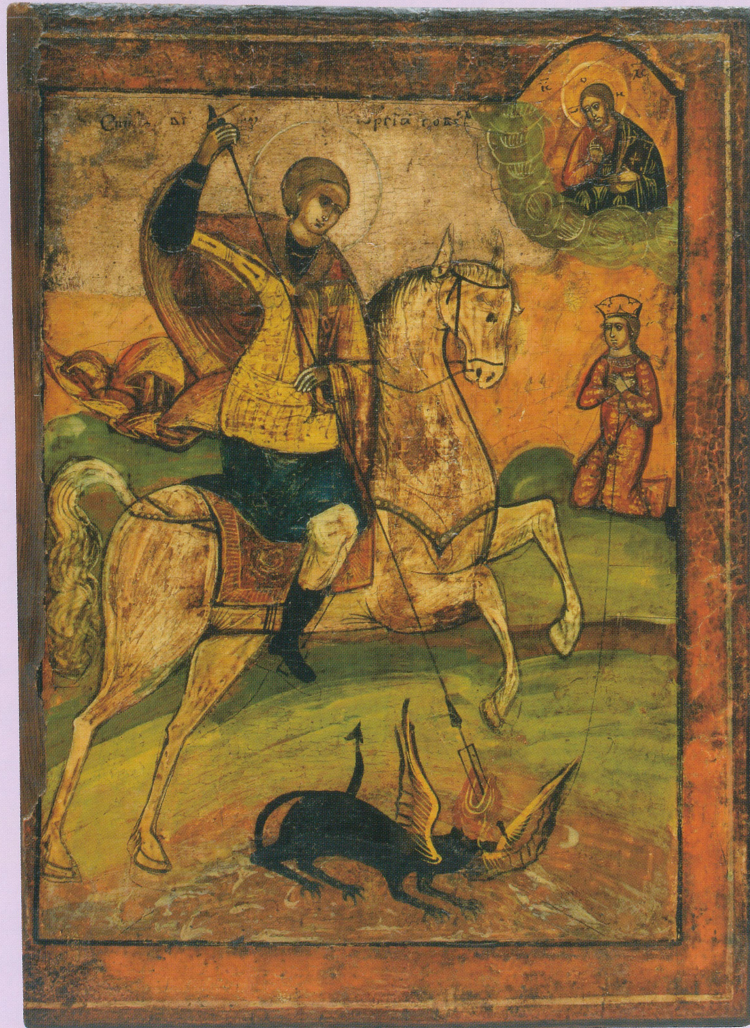
博物館ニュース「SHŪ」

NO. **55**

“SHŪ” News of Tamagawa University Museum of Education

2020年9月30日

玉川大學教育博物館



目次

新館長就任挨拶	2
報告	3
お知らせ・利用案内	4

聖ゲオルギウス

〔ブルガリアアイコン〕 板にテンペラ

37.0 × 27.5 cm

18世紀

丸山健氏寄贈資料

このアイコンは、聖ゲオルギウスがカッパドキア（トルコ）・リビュアの町シレナで悪竜を退治し、セルビオス王の娘を救う場面を描いています。ゲオルギウスは白馬にまたがり、十字架のついた槍で竜（悪の象徴）を突き刺し、王女も自らの腰帯をほどいて竜の首に投げかけ、右上の雲上からはキリストが祝福を与えています。聖ゲオルギウスは困窮を救う人、救難聖人、騎士・農民・家畜などの守護者、悪疫除けの聖人として知られています。

新館長就任挨拶

教育博物館長 石野利和

本年4月に教育博物館長に就任いたしました石野利和です。私は、これまで教育や文化に行政の立場で携わってきました。本年7月、北海道白老町のウポポイ(民族共生象徴空間)に国立アイヌ民族博物館が開設されましたが、同博物館の基本構想とりまとめに参画した一人として非常にうれしく感じています。これまでの経験を、教育博物館の充実のために活かすことができればと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の出現で社会は激変しました。教育博物館も3月末から9月30日まで閉館し、10月1日から本学在籍者のみを対象に開館予定ですが、本年度計画していた企画展「近代日本の学校体育と運動会」(仮称)及び特別展示「新収蔵アイコン展」(仮称)は、残念ながら来年度に延期いたしました。大学の春学期の授業は全てオンライン授業で行われ、今後、対面授業とオンライン授業のベストミックスで質の高い教育をどのように提供できるかが問われています。

玉川大学教育博物館は、玉川学園の創立者小原國芳の「本物に触れる」「実物に接する」の教育理念に沿って、幼稚園児から大学院生までの教育に役立つ数多くの教育資料を収集しています。「本物」「実物」は、それぞれの時代の精神や文化に触れることができ、また、向かい合った人の内面にまで問いかけてくる力強さを持っています。

新型コロナウイルスとの共存が求められる今後の社会において、玉川学園の教育機関として「本物」「実物」教育により、子どもや若者の成長に貢献する方策を関係の皆さんとともに模索していきたいと考えています。

さらに博物館は、その所蔵品を自らの教育研究活動に活用するだけでなく、社会に開かれた博物館として、地域社会の人々が集い、学び、新たな文化を創造していく場としての機能を果たしていくことが求められています。玉川大学教育博物館が、社会に開かれた博物館としての役割をさらにどのように充実することができるのか、についても取り組んでまいりたいと思います。

幸い教育博物館には優秀な学芸員と職員の仲間がいます。広く関係者のご意見をいただきながら、またご協力もいただきながら、教育博物館の充実を努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

報 告

■登録有形文化財の登録

当館で所蔵する「近代教科書関係資料」が、本年3月19日に行われた文化審議会の審議・答申を経て、9月30日に登録有形文化財（美術工芸品〈歴史資料の部〉）に登録されました。



歴史資料として登録されたのは、1895（明治28）年から1945（昭和20）年にかけて、台湾、朝鮮、満州、南洋諸島など、主に現地の児童・生徒が使用した教科書等、12,728点です。当館での収集品のほかに、教科書収集家の久米幹男氏が長年台湾・韓国で収集され、その後一括して本学に譲渡された資料を中心としています（博物館ニュース「SHÛ」No.12参照）。これらは当時の教育の実態を知ることが出来る貴重な資料群であり、この分野においては国内有数のコレクションであると評価されました。資料は1点ずつ精査し、持ち主であった児童らによる書き込み有無なども記録しています。

玉川学園・玉川大学が所蔵する有形文化財で、文化財保護法に基づく文化財の登録等を受けるのは今回が初めてとなります。これらのうち一部の資料は、当館常設展にてご覧いただけるほか、ホームページでもご紹介していますので、ぜひご覧ください。

■イコンの修復

当館のイコン・コレクションは、国内でも有数の質と量を誇ります。このことから近年、イコンの寄贈をいただく機会に恵まれています。ただ、古いイコンは傷んでいることが多く、公開するには、適切な修復が必要になります。修復を行うことで、長く受け継がれていくのです。修復前には綿密な作品調査を行い、修復作業の専門家と対話を重ねて方針を決定します。今回は表紙にもある「聖ゲオルギウス」と「十字架上のキリスト」の修復を完了しました（博物館ニュース「SHÛ」No.53参照）。

皆さまのご期待に添えるよう、引き続き取り組んでまいります。



「十字架上のキリスト」
修復前



「十字架上のキリスト」
修復後

統計（2019年10月～2020年3月）

開館日数 115日 入館者数 2737名
※特別展池袋会場を除く

収集

〔資料〕	芸術	93件
〔図書〕	和書 91冊	洋書 0冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	32冊
	洋雑誌	9冊

資料をご寄贈いただきました（順不同・敬称略 2020年2月～2020年8月）

早川 一昭	教育史関係資料	1点	貴志 豊和	教育史関係資料	8点
高橋 英男	教育史関係資料	3件	時津 寿芳	芸術関係資料	73件
藤井 百合	学園史関係資料	85点	工藤 吉野	学園史関係資料	53点
柿崎 博孝	教育史関係資料	1点		ありがとうございました	

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う 「臨時対応」のお知らせ

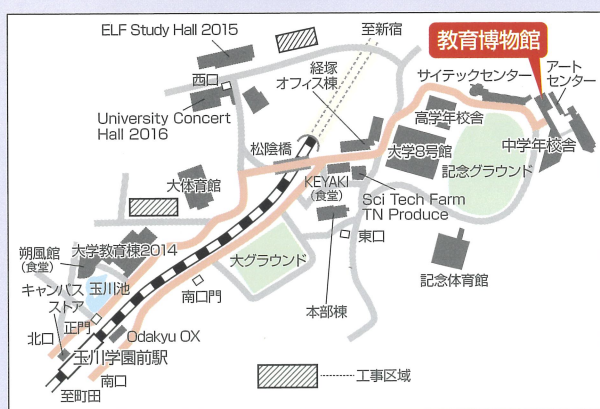
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館者の方々の健康と安全を考慮し、学外の方につきましては、当面の間、休館期間を延長させていただきます。

再開時期につきましては、状況を見極めた上で判断し、当館ホームページにてご案内いたします。

なお本誌前号でご案内しました、10月26日より開催予定の、本年度の企画展「近代日本の学校体育と運動会」および特別展示「新収蔵アイコン展」は、2021年度へ延期いたします。展覧会を楽しみにされていた皆さまには誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
(展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)
- 入館料 無料



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門（南口）に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

博物館ニュース SHŪ No.55

2020年9月30日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。